



医師会病院だより



理念

安心して暮らせる地域造りを目的とし、益田地域のニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います。

基本方針

1. 公正で安全な医療を提供し人材育成と研修の場を提供します。
2. 患者さま・ご家族さまの人権と意志を尊重した、納得と同意に基づいた医療を提供します。
3. かかりつけ医の支援病院としてきめこまやかな病診連携を行います。
4. 在宅を目指した保健予防・リハビリテーション・緩和ケアの充実を図ります。
5. 公益社団法人として益田地域全体にわたる保健・医療・福祉のセーフティネットを構築し、公益の増進に寄与します。

第142号

- ◆看護部長新任のあいさつ
- ◆石見空港航空機事故消火救難総合訓練に参加しました!
- ◆「看護の日」イベントを開催しました!
- ◆食事と歯の健康

看護部長新任のあいさつ

この度、4月1日付けで看護部長職を拝命いたしました。看護学校を卒業後、一旦県外にて就職しましたが、昭和62年より地元に戻り、当院に入職させていただきました。

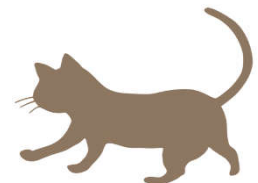
入職後は病棟以外にも手術室や外来、医療安全等の部署の異動を経て、様々な経験をさせていただき深く感謝しています。今振り返りますと様々な壁はありましたが、先輩からのご指導やスタッフの方々の協力等、皆様に育てていただきながら現在を迎えているのだなと実感しつつ、時の経過の速さに驚いています。部長職という重責に押しつぶされないよう、前にある課題に一つ一つ取り組んでいきたいと思っています。

さて、看護部では、「安心して暮らせる地域造りを目的とし、益田地域のニーズに合った保健・医療・福祉の提供を行う」と掲げた病院理念を念頭に置き、「連携の推進と思いやりがあり信頼される看護・介護の提供」を目標として継続的に実践してまいりました。医療・介護を取り巻く環境は年々厳しくなっていく中、どうなっていくのだろう?と不安に感じることは多々ありますが、まずはご家族を含め地域住民の皆様が安心して医療や介護が受けられ、生活していけることが大切です。そのためにはこの地域の動態やニーズは何かを考え、専門職としてまた施設で働く職員として協働できる人材でありたいですし、そういう人材をみんなで育てていきたいと思っています。それとともに職場にとって働きやすい環境とは何かを考え、ハード・ソフト両面で改善し続けることが課題です。



齋藤 裕子 看護部長

まだまだ背中に大きなランドセルを背負っているように見える状況かもしれませんが、できることを少しずつ積み重ね、結果が出るよう尽力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



石見空港航空機事故消火救難総合訓練に参加しました！

5月27日(日)に平成30年度石見空港航空機事故消火救難総合訓練が行われ、医師会病院の救護班が参加しました。この訓練では現地対策本部が設置され、現地対策副本部長に神崎会長、本部付に齋藤看護部長が任命されました。救護班としては、班長に吉村医師、副班長に上垣内医師、看護師、介護福祉士、事務員の合わせて15名で構成され、参加機関は全部で28機関208名でした。

訓練は、航空機が石見空港着陸のため日本海側から進入中、横から突風にあおられてバランスを失い、滑走路を逸脱し機体が破損、小規模な火災が発生し、約26名の負傷者が出た事を想定し行われました。(無傷者は6名)

負傷者役は石見高等看護学院の学生が行い、演技力もポイントとはなりませんが、部位はリアルに表現するために、負傷した顔のマスクを被ったり、火傷をした状態の装具やサポーターをしたりと工夫がされ、負傷箇所をブラインド化したシナリオでした。

救護活動では、救出された負傷者をトリアージポスト(医師や救急救命士などがいち早く負傷者の重傷度・緊急度を判断する場所)にて怪我の状態を判断し、トリアージタグを決定し、各応急救護所に振り分けられ医師の指示のもと、当院の救護班は、緑色(軽傷)のトリアージエリアを担当し、緑色のトリアージタグが装着された方の応急処置を行い、無傷者も数名、体調悪化の想定があり、バイタル確認や処置の対応を行ないました。

また、昨年の反省も踏まえ、救急指揮所での負傷者情報の共有と各エリアの連携強化を図るため、緑エリア以外に救急指揮所の応援要請の指示を受け、黄色エリア(中等症)の救護活動も行ないました。

搬送は、救急指揮所にて病院名を告げられ医師会病院、日赤に搬送の指示を請け、仮設病院に搬送し、重傷者は防災ヘリコプターで日赤のヘリポートに搬送する訓練も行われました。

最後に、滑走路内での訓練は時間が限られているため、実際の災害対応とは比較できないことがありますが、各機関が情報収集と連携を図りながら、年1回の訓練を繰り返すことにより、問題点を発見・解決し、災害時には速やかに対応が出来るようになることを目指して行きたいと思いました。



「看護の日」イベントを開催しました！

「看護の日」ってご存知ですか？だいぶん世の中に浸透してきたかなと思ってはいますが…。

2025年問題が叫ばれる中、高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要だとされ、こうした心を、老若男女を問わず、誰もが育むきっかけとなるようにと、旧厚生省により、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、1990年に制定され、5月12日が「看護の日」となりました。

さて、今年の看護週間は、5月6日～12日でしたが、日本全国で様々な「看護の日」のイベントが行われたと思います。当院では、5月8日（火）に開催し、院内保育所園児の可愛い「リトル看護師さん」が、歌とダンスを披露してくれました。入院患者さんも一緒にリズムをとって手拍子を取っておられ、とても笑顔が素敵でした♡そのあと病室を訪問して、園児たち手作りの「状差し」を患者さんに元気な声と笑顔添えてプレゼントしました。可愛い絵を見ながら患者さんとはとても喜んでいらっしやいました。この日は取材の方が5社来られ、テレビ放送や新聞に掲載していただきました。

また、玄関ロビーでは、お花の苗のポットのプレゼントや、原浜保育園の園児さんが書いてくれた「看護師さんの絵」を一週間展示しました。受診の際に看護師を観察しているのかなあと感じる力作が多く、目を楽ませて頂きました。そして当日の昼食は、看護師とナースをかけた「ナスグラタン」や「ミモザサラダ」など、看護師をイメージしたメニューを管理栄養士さんが用意してくださいました。

毎年恒例の行事となりましたが、看護師の仕事を理解していただくとともに、看護の心が一人でも多くの方に届くよう、また国民一人一人が相手を思い、助け合いの心を育んでいけることを願い、来年も頑張りたいと思います。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



食事と歯の健康



6月4日から10日は『歯と口の健康週間』です。丈夫な歯をつくるためには、カルシウムやリンなどのミネラル、良質のたんぱく質やビタミンA、C、Dなどが必要です。また、噛むことであごの骨を丈夫にし、歯の表面についた細菌や付着物が除去されます。よく噛むことで唾液の分泌も多くなり、口中の衛生に役立ちます。よく噛むことのできる食物繊維の多い野菜や肉の切り身、小魚など、噛みごたえのある食材を食卓にとりいれましょう。

～医師会ホームページ 健康食の鉄人メニューより～ 焼きししゃもの南蛮漬け



(材料 4人分)

ししゃも(生干し)	8尾	
赤玉ねぎ	80g	
黄ピーマン	25g	
かいわれ大根	15g	
A	酢	大さじ2
	砂糖	大さじ1・1/2
	塩	小さじ1/3

(栄養管理室掲載記事)

(作り方)

- ①赤玉ねぎは薄くスライス、黄ピーマンは千切り、かいわれ大根は根元を切り落として半分に切ります。
- ②Aの調味料を合わせ、①の野菜と混ぜ合わせておきます。
- ③ししゃもをグリルで焼き、熱いうちに②に漬けます。
- ④お皿に漬けたししゃもを置き、上から野菜と酢をかけ盛りつけます。

(栄養量 1人分)

エネルギー	92kcal
たんぱく質	8.8g
脂質	3.2g
カルシウム	139mg



益田地域医療センター医師会病院 外来診療担当医一覧表

平成30年4月1日 現在

診療科	診療	月	火	水	木	金	備考
内科	午前	かりの としひさ 狩野 稔久	かりの としひさ 狩野 稔久	かりの としひさ 狩野 稔久	うえ かつひ とからみ 上垣内 隆文	かりの としひさ 狩野 稔久	内科一般 ※今後、狩野・上垣内・松原で外来診療日調整
循環器内科					おかざき こういち 岡崎 浩一 (9:00~15:00)		循環器内科
外科	午前	いがらし まさひこ 五十嵐 雅彦	休診	いがらし まさひこ 五十嵐 雅彦	いがらし まさひこ 五十嵐 雅彦	いがらし まさひこ 五十嵐 雅彦	外科一般(乳腺外科・肛門外科含む)
	午後					たじま よしづく 田島 義証 (鳥大消化器総合外科学教授)	第1金曜日(電話等による完全予約制) セカンドオピニオン含む
整形外科	午前	あいかわ てつや 笈川 哲也	休診 (手術日のため)	よしむら けん 吉村 健	あいかわ てつや 笈川 哲也	よしむら けん 吉村 健	整形外科一般
麻酔科	午前		さいとう ようじ 齊藤 洋司 (鳥大麻酔科学教授)				第1・第3火曜日 (電話等による完全予約制)
リハビリテーション科	午前	にいがき みさ 新垣 美佐	かきき のぶゆき 柿木 伸之	にいがき みさ 新垣 美佐	なかしま 暁美 中島 暁美 (9:30~12:00)	かきき のぶゆき 柿木 伸之	リハビリテーション科全般
リウマチ科		すみだ よしこ 角田 佳子 (9:00~15:00)	こんどう まさひろ 近藤 正宏 (9:00~15:00)				膠原病専門外来(電話等による完全予約制) 近藤[火]・角田[月] 週1回の交互診療
呼吸器外科	午前		さしたと こうじ 岸本 晃司 (9:00~12:00)				第2・第4火曜日 (呼吸器疾患全般・二次検診後のフォロー)
循環器外科	午前					すえひろ しょういち 末廣 章一	第1金曜日(心臓・血管外科)
婦人科		きしま さとし 木島 聡 (午後)	休診	きしま さとし 木島 聡 (午前・午後)	きしま さとし 木島 聡 (午前)	きしま さとし 木島 聡 (午前)	電話による予約制(水曜日午後は検診のみ) 午前 8:30~11:00 / 午後 13:30~16:30
特殊外来	脳神経領域	午前		やまさき たつゆげ 山崎 達輔			
	放射線治療	午前		たまき ゆきひさ 玉置 幸久			第1・第3・第5水曜日
	緩和ケア外来	午前			いがらし まさひこ 五十嵐 雅彦		

外来診療受付時間 初診 午前8:30~11:00 再診 午前8:30~11:30
※但し、急患の場合はこの限りではありません。

病院ボランティア募集

当院では、外来患者様のサポートをしていただける病院ボランティアを募集しています。

ボランティアの皆様の温かい気持ちと、貴重なお時間を提供して頂き、地域に開かれた病院として、より行き届いた患者様サービスを提供することを目指しています。あなたの優しさと思いやりを、病院で活かしてみませんか？

1. 活動内容

- ☆外来患者様の受診のお手伝い、お話相手
- ☆院内の場所のご案内
- ☆その他

2. 活動時間

午前中の都合の良い日時に調整致します。

3. 連絡先

益田地域医療センター医師会病院
総務課長 石川 孝弘 電話:(0856)22-3611
興味をお持ちの方はお気軽にお尋ねください。

発行:益田地域医療センター 広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1917-2 TEL:0856-22-3611(代表) FAX:0856-22-0407

E-mail:info@masumi.shimane.med.or.jp 医師会病院URL:http://hp.masuda-med.or.jp/

益田市医師会Face book:https://www.facebook.com/masudaishikai